

情報公開文書

京都大学医学部附属病院で脳動静脈奇形と診断された患者さん・ご家族の皆様

Ver.1.2

2023年8月1日作成

1. 研究の名称

Transdural blood supply を有する脳動静脈奇形の臨床症状、血管構築、治療成績の検討：多施設共同研究

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

熊本大学生命科学研究部画像診断解析学講座特任教授	清末 一路
近畿大学医学部脳神経外科・脳卒中センター 准教授	佐藤 徹
聖路加国際病院神経血管内治療科部長	新見 康成
筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座教授	松丸 祐司
岡山大学脳神経外科助教	平松 匡文
東海大学脳神経外科助教	重松 秀明
国立循環器病センター脳神経外科医長	今村 博敏
藤田医科大学脳卒中科教授	中原 一郎
久留米大学放射線医学講座講師	田上 秀一
昭和大学藤が丘病院脳神経外科教授	津本 智幸
虎の門病院脳神経血管内治療科部長	鶴田 和太郎
小倉記念病院脳神経外科部長	波多野 武人
広南病院血管内脳神経外科部長	坂田 洋之
永富脳神経外科病院放射線科部長	堀 雄三
京都大学脳神経外科 准教授	石井 暁
富山大学脳神経外科 講師	秋岡 直樹
神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科部長	太田 剛史
新潟大学脳神経外科 講師	長谷川 仁
大阪大学医学部脳神経外科 特任助教	尾崎 友彦
トロント大学放射線科 教授	Timo Krings

4. 研究の目的・意義

脳動静脈奇形 (brain arteriovenous malformation: AVM) は、大小さまざまな異常動静脈間に直接吻合があり、ナイダスと呼ばれる異常な血管塊がみられます。この異常血管は破裂しやすく、破裂すると脳内出血やくも膜下出血を起こし、未破裂例では無症状の場合もあれば、けいれんや頭痛を生じる原因となることがあります。一部の症例では、硬膜・硬膜外血管からの供血 (Transdural blood supply: TDBS) を伴う場合があります。TDBS を伴う AVM は、高齢者に多く、頭蓋内出血、てんかんや頭痛などの発生頻度が高いといった臨床的な特徴を有するという報告がありますが、その臨床的意義や血管内治療における留意点などは未だ明確ではありません。

本研究では、TDBS を伴う AVM について多施設の症例を集積し、その臨床的特徴や血管構築、および治療結果について後ろ向きに検討することにより、その特徴と血管内治療を含む治療成績を明確にします。それにより、AVM に対するより安全かつ効果的な治療の一助になると考えられます。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から 2026 年 4 月 30 日まで

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2013 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日の期間に京都大学病院で脳血管造影検査を受け、脳動静脈奇形と診断された方

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

熊本大学に提供し、他の共同研究機関の情報と統合し解析します。情報は全て匿名化 (ID 化) され個人が特定されることはありません。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

年齢性別、発症形式などの臨床的情報および脳血管造影、MRI、CT などの画像所見

9. 利用または提供を開始する予定日

京都大学医学部附属病院長の実施許可日から 2026 年 4 月 30 日まで

10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の職名・氏名
上記項目 3 に記載

11. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名または名称
京都大学医学部附属病院助教 大川 将和

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象社が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護などに支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金

本研究は、第39回脳神経血管内治療学会運営資金を用いて行われます。

2) 提供者と研究者との関係

提供者は共同研究者の近畿大学脳卒中センター准教授 佐藤徹であり、上記学会の会長を務めます。

3) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者及びその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院脳神経外科 大川 将和

(Tel) 075-751-3459

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp